

たばたあずみ



Tell・Fax
550 6674

山根
とみえ



Tell・Fax
550 4224

戸沢ひろゆき



Tell・Fax
558 9721

6月市議会

たばたあずみ議員の一般質問

たばたあずみ議員は、改選前最後となる6月議会の一般質問で(1)保育園待機児解消について (2)おむつ用ゴミ袋について (3)放射能汚染対策について 質問しました。以下、内容をお知らせします。

保育士待遇改善 一步前進へ

増え続ける保育園待機児問題に当たり、国は、株式会社の参入拒否を認めないとする方針を出しました。あきる野市で株式会社の参入がなかった背景を質問しました。

市は、新設については株式会社の申請がなかっただけで、特に認めないわけではないが、民営化においては保育の経験のある社会福祉法人に限定した、今後もその方針でいくと答えました。

たばた議員は、株式会社がすべて悪いとは思わないが、営利を目的としている以上、福祉事業への参入には不安があると指摘し、民営化の際の方針の維持と同時に、申請が

あった場合には、きびしい審査をするよう求めました。

また、今後の待機児解消には既設の認可園の定員増や保育ママなどであたるとの説明に、たばた議員は保育士の不足も問題になっていることを指摘。待遇の悪さがその一因となっているため、保育士の待遇改善について質問すると、市は、国が2年間限定ではあるが待遇改善の対策を出していると回答しました。

たばた議員が、認証保育園の保育士についても待遇改善を求めると、東京都が改善を検討しており、市としてもそれを受けて待遇の改善を図っていくと答えました。



おむつ用ゴミ袋を使いやすく

現在、2歳以下の子どもがいる家庭には、おむつ用として「小」サイズの燃やせるゴミの袋が配布されていますが、「小さすぎて使いにくい」との声が上がっています。たば



た議員は、各家庭の状況に応じて、枚数を減らした分サイズを大きくできるなど、使い勝手を考えた配布方法を検討できないかと質問しました。

市は、市民からそういった要望・意見は受けていると認めながらも、

いまのところ見直す予定はないという後ろ向きの回答。しかも、おむつ以外の燃やせるごみを一緒に入れて出しているのが原因であるかのように発言しました。

たばた議員は、ごみの減量は重要な課題ですが、紙おむつの使用を減らすための布おむつ利用の推進など、明確な施策もとられていない以上、おむつ用ゴミ袋を市民に使いやすい大きさにするぐらいは当然のことであると主張し、配布場所を増やすこととあわせて、早急に検討するよう求めました。市は、配布場所・サイズについて、意見を聞いて検討したいと回答しました。

放射能汚染対策をひきつづき

砂ぼこりに付着した放射性物質が、建物に入り込んでいるのではという不安の声があるため、現在とられている調査・対策について質問しました。

市は、定点6箇所と山間部8箇所の測定に加え、これまでに見つかったマイクロホットスポットについても定期的な測定を行なっている、給食・農産物についての放射性物質測定も継続しており、いずれも問題はないと答弁。建物内については、市役所の中などで問題となる数値は出ていないとしました。

たばた議員は、心配されているのは学校など子どもが集

まり、げた箱・昇降口など掃除が行き届きにくい場所であると指摘、改めて調査・対策について質問しました。

市は、原子力規制委員会のダストサンプリングでも、東京都の測定でも、問題となる数値は出ておらず、大丈夫だと考えていると答えました。

たばた議員は、低レベルの放射能汚染という現状は未知の状況であり、何の責任もない子どもたちを放射能から守る手立てをとることは、原発を、積極的にせよ否定的にせよ受け入れてきてしまったわたしたち大人の責任であると訴え、これまでに市が購入した測定器を活用し、引き続ききめこまかな調査・対策をとるよう要望しました。

法律相談

7月26日(金) 13時30分～15時 予約が必要です。市議団までご連絡ください。